

基礎データ

- 【人口】4,018人(H20.7.31現在)
- 【世帯】1,161世帯(H20.7.31現在)
- 【面積】約1,947ha
- 【公共施設】泉保育園・泉小学校・泉中学校・江比間野外活動センター
- 【史跡】伊川津貝塚・鸚鵡石・泉の池・宇津江坂など
- 【観光】潮干狩り
- 【主な産業】農業(露地野菜・施設園芸)・畜産業・漁業



泉の祖先は 遙か縄文人...

校区は、大正11年、伊川津貝塚の発掘により、縄文晩期から後期に人の営みがあったとされている。

人骨をはじめ土器、石斧、石鏃、骨角器などが多く発掘された。中でも「盤状集積臺」に埋葬された犬歯・門歯の抜かれた頭骨や、犬歯・門歯を研磨した「叉状犬歯」の頭骨は大変有名である。

また、伊川津南部の泉の池は、四季を問わず常に冷たく綺麗な水が今も湧き出ており、泉村の村名もここに端を発したと伝えられている。池のほわりには神様が祭られており、今年も7月20日に「水神祭」の祭事が行われた。



自然環境豊かな校区

国道259号を挟んだ南側は、赤石山系に続く山並みの「七つ山」「白山」「大山」「雨乞山」と、緑豊かな山々がある。その麓に八王子、村松、馬伏、石神の集落。

また、北側は波穏やかな三河湾に面し、宇津江、江比間、伊川津の集落がある。平成10年の宅地分譲により新しく夕陽が浜地区が誕生し、校区は8地区で構成されてい



泉

校区自己紹介

絶景と磯の香りの宇津江海岸

る。一村一校で人との結びつきの大変良い地区である。

史跡・名所巡り

椴のシデコブシ

椴のシデコブシ群落は、国の天然記念物に指定されている。山麓湿地に約200株が自生しており、樹高2~3m、胸高周囲は10m内外である。3月下旬から4月上旬に白やピンク色の優雅な花を咲かせ、各地から観光客が訪れる。



なお、この近くには、県指定の伊川津シデコブシの群落地もあり、また、伝説で知られた「鸚鵡石」「膳貸岩」も見られる。

雨乞神社の石剣

校区最高峰、石神の雨乞山(231m)の頂上近くに雨乞神社があり、このご神体として石剣が奉祠してある。この神社は、夏の日照りが続き干ばつになると村中の者が集まり、雨乞い祈願をすれば必ず降雨に恵まれるといわれている。山頂からの景色は実にすばらしく、南に太平洋、北は三河湾が一望できる。また、山道の途中にミツバツツジの群生があり、3月下旬

には見事に花を咲かせている。

泉のブランド商品は...

主産業は第一次産業で、中でも農業が中心である。露地栽培から施設園芸に大きく転換し、キク、メロン、大葉などの花や野菜が出荷されている。

全国出荷の「観葉植物」

村松町では昔から温室栽培が盛んである。観葉植物栽培は有名で、数多くの品種を栽培している。中でも「アンズリウム」「幸福の木」などの品種は有名で、全国に出荷されている。

海の幸「江比間のアサリ」

江比間町には、遠浅の砂利海岸があり、そこに三河湾の潮の流れと、新堀川、紺屋川、今堀川の3川から肥沃な水とが入り混じること、模様鮮やかな江比間のアサリが繁殖する。3月から5月の時期は特においしく、県内の高級料亭にも江比間のアサリとして利用されている。



泉小学校の児童たちも、毎年祖父母と一緒に海岸清掃を兼ねて、潮干狩りを楽しんでいる。

(文:泉校区)